



1912 フォードモデルT 5thホイールコンバージョン



製造情報

製造商	フォードモーターカンパニー /フィールドボディカンパニー
組付工場	ミシガン州のハイランドパークのフォードハイランド パーク工場、(子会社工場)
モデル生産量	2,133
総生産量	68,773 (完成車)
馬力	22
重量	940ポンド/ 426キログラム
当時売価	\$590 (USD)

イノベーション(ポイントのみ)

年半ば、ランボードとラジエーターにエンボス加工された”
made in USA”

新しい後ろのアクセルのハウジング

1911年後期に始まったクローズバルブ型エンジン

ホーリー社のH-1キャブレター、もしくはキングストン社
のシックスボールキャブレター搭載

1911年に比べて90ドル値段が安くなる

トラックの早期改善

1913年にスミス・ア・トラック社は主に、大型フラットベッドの運搬に使用される1/2トンの容量を持つ改造されたモデルTセミトラクターの製造を開始しました。オーガスト=フルハーフは、既存の製品ををさらにダブルフレームに変更し、後部には3組のスプリング、及びスプロケットにチェーンドライブを追加しました。この新しい車体は、重い荷物(最大4トン)を運んでいた時でもブレーキを掛けられる硬いのゴムのタイヤと14インチの大型後輪ブレーキが装備されています。また第5車輪を改善したことで接続が容易になり、旋回半径が小さいので操縦性に優れています。商品輸送車は3000ドルでしたが、これらの改善点には既存のモデルTの価格に300ドル未満しかかかりませんでした。